第5回課題

A19-1420　三浦裕太

私の考えるeラーニングは、インターネットや様々なデバイスを使うことで、学びやすい、学び合いやすい環境を提供し、生徒たちが快適に学びを行える環境を整え学習を行っていくシステムなので、考えられる必要な評価としては、まず授業を通してインターネットやデバイスを自由に効果的に使用することができるようになっているか授業中の様子や課題の状況から評価していくことが求められていると考える。評価方法は、タイピングなどのパフォーマンス評価や生徒の様子を観察して行う評価が挙げられる。その理由としては、eラーニングを行っていく理由の一つとして小さいうちからICT機器に触れ実践力を高めるという目的があると考えるからである。

また、授業内でのワークシートや授業後の課題を通して、生徒の到達度を確認したり、達成度で評価をしたりするパフォーマンス評価が求められると思う。そこで生徒が様々なデバイスを活用することで、より効率的な学習ができるようになっているか、教えてもらった機能を使えるようになっているかも生徒の意欲や学習態度を評価する対象だと考える。

さらに、生徒たちが授業中や授業外でグループ活動や課題において互いに学び合いをすることで、生徒同士が主体的に活動することができ、学習に相乗効果を生み出すことができると考える。そしてそれを、生徒が主体的に行動しているか、他の生徒と協力できているかなど生徒の様子を見て評価することが必要だと考える。

また、eラーニングを用いた成果物の発表によるパフォーマンス評価も必要だと考える。自分でネットなどを用いて調べ学習を行い、それを自分でまとめ、他の人に伝えるという活動だとたくさんの評価観点が盛り込まれていると思うし、生徒の力が試される活動なので必要だと考える。

考えていることと類似の事例

事例としては、ウェブクラスでの掲示板などがある。掲示板では他人と意見を共有し、それをほかの人が見ることができ、その様子や生徒自身の考えを教師が評価することが可能になると考える。

また、Googleフォームのスプレッドシートでは、グループでの共同作業がオンライン上で可能になり、様々な機能を使い課題を作っていくことなどを行うので、機能面での評価や主体的に班員と協力し作成できているかどうか、その成果物ができているか、についての評価ができると思う。